

久留米工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	韓国語Ⅱ	
科目基礎情報							
科目番号	5CG20			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	生物応用化学科			対象学年	5		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材	崔柄珠著、おはよう韓国語 1、朝日出版社、2014年						
担当教員	安 瀬珠						
到達目標							
1. 韓国語の文章の読み・書きができる。 2. 場面会話の練習を通して日常生活に必要な会話ができる。 3. 語彙を増やし、コミュニケーションのための話題を広げることができる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		ハングルの読み書きができる。		韓国語の文章が読める。		長い文章の読解と作文ができない。	
評価項目2		日常生活で使う挨拶ができる。		挨拶交換ができる。		韓国文化特有の挨拶には対応できない。	
評価項目3		韓国語で自己意思表示ができる。		韓国人に場面による簡単な質問と答えができる。		場面会話文を作ることができない。	
学科の到達目標項目との関係							
JABEE E							
教育方法等							
概要		隣国である韓国に対する理解と関心を高めるために、韓国語とその背景にある文化、歴史にも触れ、積極的に韓国人とのコミュニケーションをはかる姿勢を持つことを目指す。					
授業の進め方・方法		授業は教科書と練習用プリントを中心に行われる。会話の練習をするためにペアを組んで発音してみたりすることがあるので、積極的な授業参加が求められる。またこの授業は韓国語Ⅲに継続する。					
注意点		・定期試験 70%、平常点 (小テスト、課題、授業態度など) 30%。 ・60点以上を合格とする。 ・再試験を行う。					
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	韓国語Ⅰの授業の復習		・用言の丁寧形を作ることができる。 ・好みを聞きながらコミュニケーションをとることができる。		
		2週	用言の丁寧形 ヘヨ体Ⅰ		・ヘヨ体の作り方を覚える。 ・陽母音と陰母音を理解する。		
		3週	漢数詞と月日の言い方		・漢数詞を使って買い物ができる。 ・漢数詞を使って日課が話せる。		
		4週	ヘヨ体のまとめ、指示詞の練習		・指示詞、漢数詞、ヘヨ体を使ってスキットを作ることができる。		
		5週	用言の丁寧形 ヘヨ体Ⅱ		・パッチムのないヘヨ体を覚える。 ・変則活用を理解する。		
		6週	固有数詞		・助数詞を付けた時の発音の変化を覚える。 ・時刻・曜日が話せる。		
		7週	数詞の使い分け		・漢数詞と固有数詞の使い分けを覚える。 ・固有数詞とヘヨ体を使って一週間のスケジュール表を作成することができる。		
		8週	韓国の服飾文化、交通事情・交通手段		・チマ・チョゴリを着方がわかる。 ・乗り物と関わる単語を覚える。 ・目的地を決めて、道を尋ねることができる。		
	2ndQ	9週	依頼表現		・動詞＋～(し) てください表現を覚える。 ・依頼表現を使ったスキットを作成することができる。		
		10週	逆接表現		・用言語幹＋チマンの作り方を覚える。 ・逆接・依頼表現を使ってスキットを作成することができる。		
		11週	用言の過去形		・ヘヨ体と過去形の関連性を理解する。 ・過去形を使ってスキットを作成することができる。		
		12週	仮定・願望表現		・用言＋(ウ) ミョンの作り方を覚える。 ・自分の将来希望を話せる。		
		13週	尊敬形の作り方、並列・順次表現		・家族について話すことができる。		
		14週	特殊な尊敬形、感嘆表現		・名詞・助詞の尊敬形を覚えて、親を紹介することができる。 ・		
		15週	尊敬形のまとめ、韓国の伝来童話紹介		・名詞・助詞・用言の尊敬形を使って家族紹介文を作成することができる。		
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
専門的能力	分野別の専門工学	化学・生物系分野	無機化学	結晶の充填構造・充填率・イオン半径比など基本的な計算ができる。		3	

				配位結合の形成について説明できる。	3		
				錯体化学で使用される用語(中心原子、配位子、キレート、配位数など)を説明できる。	3		
				錯体の命名法の基本を説明できる。	3		
				配位数と構造について説明できる。	3		
				代表的な錯体の性質(色、磁性等)を説明できる。	3		
			分析化学	錯体の生成について説明できる。	3		
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	10	0	10	0	10	100
基礎的能力	70	10	0	10	0	10	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0